

# 第1回研修会

## 【研究発表】

「つながる学校図書館～多機能化による開かれた学びの場の実現へ～」

与進北小学校 磯部 真代先生

### 《学校図書館の課題》

- ①学校図書館に関わる人々の取組のビジョンが共有できていない。
  - ②学校図書館活用の有用性が伝わっていない。
  - ③学校図書館の業務がルーティーンワーク化傾向。
- 組織的な取組で距離を近づけていく



### 《つながる学校図書館プロジェクト》

学校は、大人になるための準備期間。

つながりの中で子供たちを育み、子供たちが人生は楽しく、世の中には素敵な大人がたくさんいて、世界が広がっていることを学ぶ場に。

### ① 本や人に出会う「ブックカフェ」

- 学校図書館が学びの拠点として、人や本、様々な世界とつながるツール
- ・「夢をえがこう！アナウンサー講座」

卒業生を講師に呼び、保護者やボランティアも参加する。（開かれた学びの場）

- ・読書週間ブックカフェ「チャレランに挑戦！講座」

子供チャレンジランキング種目に挑戦する。

- ・「女子プロ野球選手と遊ぼう！講座」

校内外の企画とつながる。

- ・「職員版 ブックカフェ」

学び続ける教師の開かれた学びの場とする。職員一人一人のよさを出し合って、教師力アップへとつなげる。



### ② プラットフォームとしての「わくわくライブラリー」

- 掲示板を通して、本や学校図書館の情報を発信・共有する。

・学年を超えた交流を生み、読書の幅を広げていくことにつながる。

### ③ 学習と本をつなげる「動く図書館」

- 学びのマップをもとに、学校司書・ボランティアにより、各学年の年間指導計画に沿って、学習に必要な本が各学年の廊下に届くシステム。

・カリキュラム・マネジメントの視点から、資質・能力の育成につなげる。

・教員の教材研究や授業改善への一助を担う。

・様々な分野で学校図書館の本を活用する。

・子どもたちが本とかかわる機会を増加する。